

すぎのこ

140

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2015 10/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 飯能研修センター：〒357-0063 埼玉県飯能市飯能325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
 滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1662

2面・3面 制作だより／いい大人
 形劇フェスタ・2015／影絵紙
 芝居講習会／園からの声 ほか
 4面 JKA補助事業報告／事務局
 だより／新人紹介 ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: support@suginoko.org



わらしべ長者 班

榎崎 数馬

毎年8月に長野県飯田市で開催される、「いい大人形劇フェスタ」に、今年も参加させていただきました。毎回のことがら、劇団さんごとに雰囲気の違いや人形や表現方法、舞台の作り方に、一人の観客としてドキドキワクワク、とても楽しい時間を過ごすことができました。

普段と違い、客席の側にいてこそ楽しめるのが、横に座っている子ども達の表情や反応です。人形の動きや言葉に目を輝かせてうなずき、考え込み、身体全部をつか

巡回公演だより

って笑う小さな子ども達の大きな感情表現は、舞台の上で演じていてもその気配を感じることはできませんが、同じ客席の立場で見るそれは、さらに生き生きと生きていて思わず笑みがこぼれてしまいました。

人形のほんのわずかな仕草に感嘆の声をもらしたり、意外なところで大きな声を出して笑ったり、子ども達は、私が想像するよりもはるかにたくさんのかたちを感じ取り、吸収しているのだなあ、と改めて感じながら、一緒にお話を楽しんできました。

「わらしべ長者」は、ひよんなことから拾ったわらしべが、いろいろなものに変わっていくという繰り返しのあるお話です。子ども達はそのことを理解して、次は何が出てくるのだらうとワクワクしながらお話を楽しんでくれることを、舞台の上から願いつつ、日々上演に臨んでいます。

そっくりのくりのき 班

後藤 佳世

夏にゲネプロという劇団内でやる人形劇の発表会をしました。人形劇に詳しい方達が集まる中、一生懸命やりました。他の班も実力はついてきており、新人達はとても頼もしいし元気があり、劇団内は活気に満ちていました。



夏休み前は北海道を回り、いろいろな子ども達に会ってきました。中には「コンちゃんこの山で拾ったの」とか、「キツネには触ったりしたらダメなんだよ」とか、たくさんの子どもの反応がありました。夏休み後は南の九州です。九州にもコンちゃんに似たキツネがいるらしく、種類はホンドキツネ。コンちゃんの足は黒くないので、ホンドキツネではないかと思っています。キツネの生息が少ない九州の子ども達の反応が、どんな感じ方をして言葉として返ってくるのか楽しみです。

おだんごばん

長谷川 唯

初演から数ヶ月が過ぎました。最初の頃と比べると演技に余裕が出てきて、表情豊かになったり、レベルアップしているのを感じます。

このように書くと、現在とは差があったように思われますが、始まったばかりの公演状態が悪いという訳ではなく、稽古を重ね、その時その時で自分の持てる精いっぱい力を出してきたつもりです。



ただ、最初の頃は、稽古通りにミスなくやることを重視していました。最初はそれでいいと思っていましたが、気づいたのです。私達は、ドラマや映画のように完成されたものを見せているのではない。先生方は子ども達にナマだからこそ伝わる演技を求めているはずだ。この数ヶ月、たくさん園を回って様々な反応、雰囲気を実際に感じてきました。公演を重ねるうちに、「こういう動きや話し方をすると子ども達の反応が少し違うぞ」「少人数だから一人ひとりに語りかけるようにゆっくりやってみよう」と、試行錯誤する気持ちが生えてきたのです。

公演中は、私達と子ども達が一体となって、その場の空気を作っています。ナマだからこそできること、伝えられることをこれから大切にしていきたい。私達は同じ作品を一年間通してやり続けるけれども、見る人にとっては初めてのもの。マンネリ化しそうな日々でも、開演前のワクワクした子ども達の声、終演後の喜ぶ子ども達を見て、安心したような先生方の笑顔。そういった場

面に出会うたび、私達も一回一回新鮮な気持ちで演技に臨みたい：そう思わせられるのです。

とべー！ ドードー 班

星野 翼

二学期が始まり、私達ドードー班も、子ども達に楽しんでもらうために日々稽古に励んでおります。振り返ると、私自身、仕事の中で反省することやもつと努力できる場所がたくさんあったと思います。気付かなかった部分も含め、そんな自分のダメな部分を少しでも多く自覚し無くしていくことが、これからずっと続く私の課題だと思っています。

人形を動かす難しさや楽しさをやっと感じてきた二年目の私ですが、今後は班員の皆さんに甘えることなく、少しでも成長して自分で動けるようにならないといけない、と思います。

そんな私ですが、子ども達みんなを笑顔にできるような芝居を目指して、どんなことでも全力でやっていきたいです。もちろん、健康第一で…。



制作をよ

私達制作の仕事は、俳優達が全国に人形劇を届ける準備をすることです。幼稚園、保育園などに電話でご案内をして、ご予約をいただき、スケジュールを調整します。お忙しい保育の時間にお電話をさせていただいているのに、どちらの施設でも丁寧に对应いただき、いつも感謝の気持ちでいっぱいです。

一日に2回、3回と公演を行い、

車で移動をしているので、日程なども協力いただきながら決めさせていただいております。ご理解いただき、ご覧いただいている施設の皆様、ほんとうにありがとうございます。残念ながらご覧いただけない場合でも、先生方の子ども達への思いや日常の保育のことができると、たいへん勉強になります。

(榎本千里)

いいだ人形劇フェスタ・2015

今年も、8月4日から9日まで開催された長野県飯田市の「いいだ人形劇フェスタ」に、「ずいてん」「かもとりこんべえ」の作品で参加しました。

このフェスタは、日本最大規模のフェスタで、子ども達の劇団、学生の劇団、アマチュア劇団、プロ劇団、海外からの劇団など、今回も、約240劇団による約440ステージの公演がありました。

日頃、他の劇団の公演を観る機会が少ない我々にとって、毎年、楽しみにしているフェスタです。

8月8日(土) 13時30分、座光寺公民館大会議室でのすぎのこの上演にも、猛暑の中、たくさんのお客様がご来場くださり、無事に終了することができました。ありがとうございました。

お忙しい中、観劇くださった、いいだ人形劇フェスタ実行委員長

って見てくれるような、そして、ずーっと心に残るような人形劇を、これからもお届けできるようにがんばらなくてはと思います。

秋に入り運動会や発表会をひかえ、先生方は練習のご指導や準備などに、さらに今年度にはいつて保育制度もかわり、今まで以上にお忙しい日々をおすごしのことと思います。寒さにむかう季節でもありますので、どうぞ、お体を大切に…。

の原田雅弘様をはじめ、会場になった座光寺公民館の皆様に感謝いたします。

また、この日の夕方にあった人形劇わいわいパレードでは、通算10回参加の劇団に贈られるすぎのこの真新しいのぼり旗を持って参加し、ほのぼのの賞を受賞。おいしいクッキーをいただきました。

来年も、ぜひ参加したいと思っています。

(下村 あきら)



わらしべ長者

■杉の子保育園(佐賀県多久市)

本来なら親から子へ、師から弟子へと受け継ぎ語り継ぐべき日本の昔話が、現在は忘れられているような気がします。良いものはやはりきちんとした形で伝えていかなくてはと、私達保育士自身、感じました。

人形劇を見ている子ども達の目の輝きを見るにつけ、私達大人のするべきことは、子ども達の心を動かすよい刺激を与えることであると思いました。また次回も楽しみにしています。

■明教保育園(長崎県諫早市)

紙芝居も使って小さな年齢の子ども達にもわかりやすく、とても楽しい人形劇でした。

人助けをするという良いことがあるという、馬を大事にしてあげたことが分かる話のアレンジがよかったです。自分のことだけではなく、困っている人を助けたり、ご先祖様も大事にするという優しい心を持つ大切さを伝えられました。

そくろのろき

■須古保育園(佐賀県杵臼郡白石町)

今まで絵を描くことにあまり興味を示さなかった4歳児の男の子が、観劇後、とても楽しそうに「そっくりの木」を自由画帳に伸び伸びと描いていました。

3〜5歳児の観劇のつもりでしたが、2歳児も最初から最後までよく見ていたのには驚きました。全員舞台上に引きつけられていたようです。楽しくて美しく、そして少し悲しい心温まる人形劇でした。

■城北保育園(佐賀県佐賀市)

物語の主人公「コンちゃん」や「くりの木のおじいさん」に感情移入して、「がんばれー」と泣きながら応援する姿も見られました。命はつながっているもので大切にしないといけないことが、子ども達にも感じられたと思います。

二人で1時間弱の劇は大変だと思いますが、とても楽しかったです。導入でのかくれんぼする人形劇も人気で、劇の後、動物になって真似をしている子もいました。

■日の丸保育園(北海道札幌市)

命のつながりというテーマが、子ども達にどんな風に受け止められるか反応が楽しみでした。楽しい場面では声を出して盛り上がり、嵐の場面ではハラハラした様子の子ども達。そしておじいさんの木とのお別れの場面ではシーンとなっていました。

本園では親子での観劇でしたので、保護者から「感動しました」「子どもと一緒に見ることでできてよかったです」との声も聞かれました。

おだんごぼん

■福井大学教育地域科学部附属幼稚園(福井県福井市)

おだんごぼんの人形がとてもかわいくておいしそうで、子ども達も喜んでいました。あまりにおいしそうだったので、職員

達もおながすいたぐらいです(笑)。

おだんごぼんの歌もなじみやすく、子ども達の心をとらえる言葉が多かったせいか、観劇後も口ずさんでいました。今後も歌っていきたい歌です。

■魚津第二保育園(富山県魚津市)

演技者の方々の動きや表情、声の出し方など大変勉強になりました。また、大道具、小道具も魅力的で、すぐにお話の世界に引き込まれていきました。楽しい手遊びの歌が劇中に繰り返され、事前に楽譜をいただいたことで、子ども達も覚えて一緒に楽しむことができました。

■姫津保育園(新潟県佐渡市)

人形劇など本物に触れる機会は、都会と違って多くありません。「情緒豊かに」と願う当園としては、その数少ないチャンスのひとつとして、こうした観劇は大切なことと考えております。新園舎で演じにくかったと思いますが、熱演ありがとうございました。

ぐべー・ドロー

■大仁児童館(神奈川県伊豆の国市)

準備から最後の片付けまで気を抜かず一生懸命やっている姿は、とても立派で頭が下がります。団員の方々が人形一つ一つの動きにも注意している様子がよく見られ、表情も動きもとてもよかったです。効果音も場面場面によく合っていました。子ども達は笑い声や笑顔も見られ、とても楽しそうにっていました。

夏のすぎのこ人形劇観劇会

埼玉県飯能市の市民会館近く、入間川とアニメ「ヤマノススメ」に出てくる天覧山とに囲まれたすぎのこ研修センター「ドリーム館」において、8月23日、恒例の観劇会を行いました。この日はあいにくの曇り空でしたが、前日までのうだるような暑さでもなく、雨も何とか持ちこたえ、絶好の観劇日和となりました。

4公演あるうち、朝の初回は割とゆったりと座ってもらえていたのですが、午後に入ると2回目、3回目、4回目とも全ての回で満席状態！近所の子ども達はもちろん、市外から、東京都内からも、毎回参加してくださる方々もいらして、本当にたくさんの方々にお越しいただきました。皆様ありがとうございました。

さいました！

後ろの方で見えにくかったり、せっかくのかき氷のおもてなしもシロップ品切れで食べられなかったりした方、ごめんなさい。来年は多めにご用意しておきますので、8月終わりの週末は空



けておいください(笑)。

春の観劇会は4月末の週末に行う予定です。毎年最新作が披露目になる時期ですので、こちらも楽しみにお待ちいただければと思います。

(白石 高章)



影絵紙芝居講習会

春の「スプリングスクールすぎのこバックステージ見学」に引き続き、7月23日に「こどもエコクラブ飯能」さんのご依頼で「影絵紙芝居講習会」を行いました。今回は夏休みの子ども達を対象とした取り組みということで、幼稚園の年少さんから小学校六年生まで28名の子ども達と保護者の皆さんにご参加いただき、とても賑やかに執り行うことができました。

普段の講習会ですと幼稚園・保育園の先生達がメインになり

ますので、黙々と影絵キットに絵を描いてセロハンや紙を切り貼ったりする作業音だけが響く、という割と静かな時間が多いのですが、この日ばかりはそうはいきませんでした。

集中して取り組む子も多い中、立ったり歩いたり、取り合いっこを始めたり、あちこちから「せんせいーこれ見てー」「あ、違うとこ切っちゃったー」などと言う声に右往左往したり、普段子ども達に慣れているはずの人間形劇のお兄さんお姉さん達があたたかたしている姿がとても新鮮で、私も一緒にあたたかたしながら賑やかな講習会を楽しませてもらいました。あつという間の2時間でした。

完成した作品もそれぞれ個性的で、「おおつ」と思わせるものから、「ふふつ」と思わず笑顔になるものまで、たくさん作品ができました。窓に貼ったり、ライトで照らしたりするとパッと綺麗な影絵が浮かび上がって、「あんまりうまくできなかった」と浮かない表情だった子もパッと笑顔になり、いい夏休みの思い出に

なったかな、と思う私の顔も笑顔になっていました。片付けの後いただいた手作りカレーもおいしく、すばらしい夏のひと時を過ごすことができました。今後もういった地域交流を続けていきたいと思いました。

(白石 高章)



■こむぎ保育園(東京都小金井市)
テレビやビデオ、DVDの時代の子ども達を飽きさせることなく引きつけておくことは、とても大変なことだと保育士は考えております。それなのに1時間弱という時間の間、子ども達はとても集中し、保護者も一緒に観劇できたことは、とても嬉しく感謝でいっぱいです。

地球環境という壮大なテーマでしたが、全てがわからなくても、心のどこかに記憶していただくことを願っています。
ハチの「ブーン」という音がリアルでした。

■若槻保育園(千葉県千葉市)

歌や曲に合わせ、ミュージカルのように話が進んでいくところがとてもおもしろく、お話の世界に引き込まれていきました。ハチが登場した場面では、客席の方に飛んでくる演出もあり、

子ども達も期待いっぱいの表情で、最後まで集中して楽しむことができました。



▼鹿児島市武岡ハイランド保育園より



鹿児島市伊敷保育園より▶

▼札幌市白石幼稚園より



高木さんを偲んで

和田宣子

二年前の秋、「星の王子さま」制作の時、高木さんに大道具、照明でお世話になりました。

その稽古中に、高木さんから怒られたことがありました。

本来ならすべてひとり芝居でやる予定が、どうしても一人ではできない場面があり、裏方で手伝っていたことになったのです。何でもやっていただけるものと思い、あれもやってほしいこれもやってほしいと、自分ができることまでお願いしようとしたところ、一喝。涙が溢れてき

ました。でもおかげで、初日は自分でもびっくりするくらいエネルギーが出ました。

上演を終えるとひとこと、「いやー、子ども達にはよく観ていたなー。芝居は下手だったけどな」そして高木さんらしくニタツと笑いました。

若い時はたくさん先輩方からよく叱られました。そして、悔しさも自分の不甲斐なさによく泣いたものです。でも歳をとるにつれ、叱ってくれる人が少なくなりました。

この8月、大きなものを残して星になった高木政則さん。観ていただく方の心に響く上演をやっていたい。そうすることがこれからの、私の高木さんへの恩返しです。

公益財団法人 JK A補助事業



公益財団法人JK Aより補助を受け、平成27年度青少年の健全な成長を育む活動補助事業として講習会を開催しております。公益財団法人JK Aのご支援に心より御礼申し上げます。

発声講習会

NHK『にほんごであそぼ』で監修を担当されている齋藤孝氏は、「日本語教育は体育の授業」とおっしゃっていますが、演劇人としての発声はまさにスポーツ！理論的なことも必要ですが、身体が覚えることが重要になってきます。7月29日、石川県向粟崎保育所において発声講習会を行いました。本来であれば体も動かせる部屋で

行えるのが理想的なのですが、今回は園児のお昼寝の時間を利用しての講習ということもあり、職員室で着席してテキストを開き、勉強会のように行いました。それでも簡単な準備運動はできます。大きく動かずとも、身体の中を静かに細かく、波を起こすかのようによろこずと、温まり、外へ向かってひらいていきます。声は出しても構わなかったの

で助かりました。腹式呼吸を使つて、声がまつす



(野見山 大輔)

ぐ出るよう講習しました。短い時間ではどこまで習得してもらえたかわかりませんが、子どもを相手に仕事をされている方々に、少しでも生き生きとした言葉が発せられるお手伝いができたら、嬉しく思います。

事務局 だより



研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会（現財団法人JK A）の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」、埼玉県に日本宝くじ協会の助成により建設された「すぎのこ飯能研

修センター」があります。いずれの施設も緑ゆたかな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地しています。

音楽や演劇等の芸術文化活動はもちろん、どなたでも時間を気にせず、自由にのびのびとお使いいただける施設です。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。（利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません）

婦恋村にある「すぎのこ婦恋研修センター」近くには、海拔1200m、周囲2kmに及ぶバ

ラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉施設「湖畔の湯」やバラキ高原婦恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはテントサイト（シャワー室・トイレ完備の専用洗面棟併設）や雨天でもパーベキユーが楽しめる集会棟、アスレチック広場等が整備され、多目的に活用できる施設となっています。

埼玉県飯能市にある「すぎのこ飯能研修センター」は、都心から電車で約一時間程度の場所にありながら閑静で落ち着いた

環境に恵まれ、135㎡の多目的フロアの他、研修室、和室、男女更衣室、シャワールームを完備しており、研修や芸術文化活動に広くご利用いただける施設です。また、周辺には飯能の観光スポットとして有名な「天覧山」や「飯能河原」等も徒歩圏内にありますので、利用された折には、ぜひ散策してみたいかがでしょうか。

各施設の利用可能な期間や時間等、詳細につきましてはお問い合わせください。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

婦恋研修センターに関するお問い合わせ
E-mail: support@suginoko.org
または03-3984-2396（事務局）



飯能研修センター

婦恋研修センター

飯能研修センターに関するお問い合わせ
E-mail: info@suginoko.org
または042-971-4121（創造部）

婦恋研修センター利用報告

「すぎのこ婦恋研修センター」は今夏、群馬大学 Fore Bridge Orchestraの皆様方に、ご利用いただきました。また婦恋高原キャベツマラソンに参加の皆様や、ご家族連れの皆様のご利用もありました。更に今秋もリーダーの文化団体様からご予約を承っております。

ご利用いただいた皆様、誠にありがとうございました。



▲群馬大学Fore Bridge Orchestra 練習風景

劇団研究生を募集しています

すぎのこでは、子ども達にナマの舞台の感動を届ける仲間（劇団研究生・人形劇俳優）を募集しています。全国の幼稚園・保育園や各種イベント会場・劇場などで人形劇の公演活動を通じて、たくさんの笑顔に出会える

ことがこの仕事の魅力です。巡回公演が中心ですので、長期間の出張が可能な方、子ども好き、旅好きの方で興味を持たれた方はぜひ、私達の活動に参加してみませんか。尚、未経験の方は研修・指導を行います。

活動内容や条件等、詳しくは左記へ連絡ください。

E-mail: support@suginoko.org
または03-3984-2396（事務局）

人・介 新・紹



小久保 祐奈

6月に入団しました。現在はおだんご班のおじいさん役をいただき、東北を回っています。右も左もわからない状態ですが、精いっぱい頑張りたいと思います！ よろしくお願ひします。

活動記録(平成27年7月〜9月)

- 7/23 影絵紙芝居講習会開催 於・ドリーム館(埼玉県飯能市)
- 7/29 発声講習会開催 於・向栗崎保育所(石川県河北郡)
- 7/31 第一期全国巡回公演終了
- 8/8 いいだ人形劇フェスタ参加 於・長野県飯田市座光寺公民館
- 8/23 創造部公開ゲネプロ 於・飯能研修センター
- 8/26 第二学期全国巡回公演開始